

TOPICS  
6

## トピックス…⑥

## 輸入脱脂粉乳の売渡入札価格の高騰

農畜産業振興機構は7月14日、4月19日以来本年度2回目にあたる輸入脱脂粉乳の売渡入札を実施し、入札数量1,985.3トン全量が高値で落札された。今回の応札者数は13者、落札者数4者であり、株式会社明治と雪印メグミルク株式会社の落札率が全体の96.5%を占めた。

今回の輸入脱脂粉乳の売渡入札数量は、2016年度のカレント・アクセス枠で輸入された1,985.3トンである。うち特A規格の入札数量992.575トンの応札数量は2,787.45トンで、競争倍率が2.8倍と非常に高く、落札価格は平均で649,370円/トンとなり、急落した前回に比べ29.1%高となった。他方、A規格の入札数量992.725トンの応札数量は1,981.55トンで、競争倍率が2.0倍と高く、落札価格は平均で627,755円/トンとなり、前回に比べ21.7%高となった（表1参照）。

また、前年の同時期に実施された売渡入札結果と比較すると、特A規格の平均落札価格は2.9%安であったが、A規格は16.3%高である。このように売渡入札価格が高水準で推移していることから、近年における輸入脱脂粉乳に対する需要が比較的安定していることがわかる。同時に、脱脂粉乳への旺盛な国内需要があることを示唆している。

表1 輸入脱脂粉乳の売渡入札結果

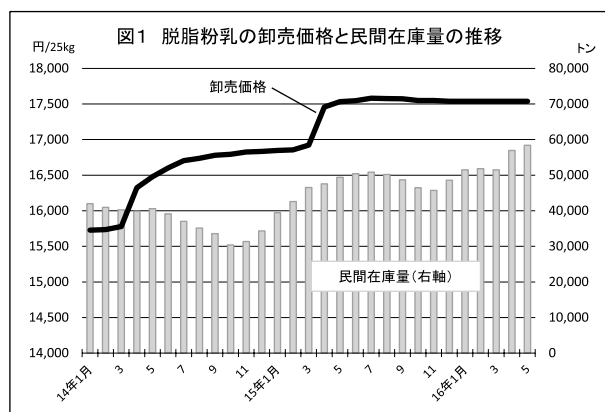
	2015年7月16日		2016年3月31日		2016年4月19日		2016年7月14日		
	特A規格	A規格	特A規格	A規格	特A規格	A規格	特A規格	A規格	
入札数量（トン）	846.275	655.575	2,459.025	2,481.875	134.550	513.900	992.575	992.725	
応札者数（者）	18	12	16	8	3	5	10	9	
応札数量（トン）	2,036.500	796.150	6,599.725	3,187.725	154.550	861.900	2,787.450	1,981.550	
競争倍率（倍）	2.4	1.2	2.7	1.3	1.1	1.7	2.8	2.0	
落札者数（者）	13	10	2	2	2	5	2	3	
落札数量（トン）	846.275	566.150	2,324.475	1,967.975	134.550	513.900	992.575	992.725	
落札率（%）	100.0	86.4	94.5	79.3	100.0	100.0	100.0	100.0	
落札価格	最高（円/トン）	755,002	640,008	630,008	590,008	504,000	600,000	660,000	651,000
	最低（円/トン）	512,510	510,072	503,008	491,000	501,200	491,000	478,000	490,001
	平均（円/トン）	669,102	539,977	608,601	558,797	503,168	515,852	649,370	627,755

資料：農畜産業振興機構

注）落札価格には消費税を含まない。

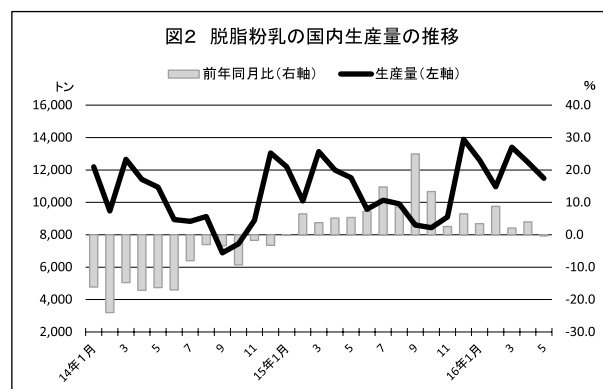
今回の輸入脱脂粉乳の売渡入札において、全量が高値で落札された要因として、脱脂粉乳への旺盛な国内需要を指摘した。そのことを明らかにするため、国内の卸売価格（大口需要者価格）と民間在庫量の推移をみてみよう（図1参照）。

近年における国産脱脂粉乳の卸売価格は、2014年4月と15年4月の2回にわたり急騰したが、それ以降は25kg当たり17,500円以上の高水準で推移している。16年5月には、前月と変わらず17,537円（前年同月とも同水準）となった。この間、脱脂粉乳の民間在庫量は、14年11月以降ほぼ増加傾向で推移し、16年5月末には前年同月比18.2%増の58.4千トン（5.2カ月分）となった。しかし、5月の国内生産量は前年同月比で0.3%減と、16カ月ぶりにマイナスとなった（図2参照）。旺盛な潜在需要が存在する状況の下では、在庫量が比較的潤沢にあるにも関わらず、国内生産量のわずかな減少が、輸入脱脂粉乳の売渡入札価格に影響を及ぼしたと言えよう。



資料：農畜産業振興機構調べ

注）卸売価格は大口需要者価格である。



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」